

# ダンゴムシの生態

ダンゴムシは昆虫じゃないゾ!!

ダンゴムシ (*Armadillidium vulgare*)

身近で簡単に発見できるムシのひとつがダンゴムシ。実はムシとついでに「生体生物学上」ダンゴムシは昆虫ではなく、エビヤカニなど甲殻類の仲間。

日本ではオオダンゴムシ、ハマダンゴムシ、コシロダンゴムシの3種が確認されている。体のつくりは頭部・腹部・尾部に分かれ、脚の数が

14本(7対) 触角が4本(2対) だが退化して小さい。

最も身近なオオダンゴムシのサイズは数mm〜約15mm。背面が固く硬い殻になっている。危険を感じると体を丸くして身をを守る姿がおなじみ。

## 実験 逃げる時にジクサクでうごくるのは本当?

ダンゴムシにはある特性があるといわれている。交替性転向反応と呼ばれるもので、進行ルートに障害物があるとき、右→左→右→左と交互に曲がって進んでいくという。これはジクサクに進むことで、天敵から逃げやすくなるためだといわれている(右→右→右など別の方向の場所にもよってはおかしくなる)。その仮説は確かなのか? ジクサクに進めば脱出できる迷路もつくって実験してみた。

### 結果 感想

ダンゴムシは迷宮を3回連続でクリアした。やはりジクサクに進むのは本当だった。実験成功。どのダンゴムシでも障害物があるとジクサクに動くことおもしろい。生きたこのジクサクに動く本能なんたなあって思った。生物は生き残るすべがあると思えた。DNAやてすこ!!

